

堂本 曉子 知事 と 語る

# 「なの花県民会議」



IN 横芝

## 農業や騒音問題で意見発表

堂本知事が県内80市町村を訪問し、県民と直接対話し今後の県政に反映したいとする『千葉なの花県民会議』が6月15日(土)横芝町文化会館で開催されました。一年前に始まったこの会議は横芝町が52番目の開催地、会議では齊藤重宏さん(北清水東)と、伊藤善一さん(古川)が意見発表した後、知事自らマイクを参加者に向け、貴重な意見や要望に耳を傾けました。

堂本知事は、ふれあい坂田池公園を視察した後、28歳から80歳まで17人が集った文化会館へ移動し、県民会議が始まりました。

冒頭知事は、なの花県民会議は、県民の目線で県政を作っていくきたいと思ひ、始めました。

横芝町は、成田空港暫定平行滑走路供用が大きな問題です。内陸空港の課題である騒音問題は、国・県・空港公団・町との4者で話し合いマイナスのことだけ考えるのではなくプラス思考で、望んでいきましょう。

また、千葉からの『変革と創造』とする県方針を説明、県民一人ひとりが地域

の政治や政策をつくり、県をつくる地方自治が始まります。郷土を愛し日本中に誇れる千葉をつくっていきましょうと話しました。

続いて、實川町長は県民の日(6月15日)にこの会議が開催されることを大変うれしく思います。

「成田空港とは共生する宿命で騒音対策など施策を図っていききたい。」

また、中学校移転建設地に隣接する横芝下総線バイパスの早期整備を要望。

市町村合併については、子供や孫達のためにも合併により強固な行政基盤をつくってまいりたい。とあいさつしました。



伊藤 善一

「町の基幹産業である農業問題について」

北清水地区は、「県営担い手育成基盤整備事業」により一反歩あたり200万円を投入し、すばらしい圃場は完成したが今は毎年休耕しなければならぬ。

このような状態では、生産意欲が減退し後継者の育成もできない。知事は、現在のこのような農政についてどのようにお考えか。

また、集団転作により作付けした大豆を使用し営農組合女性部による手づくり味噌の生産・販売も開始したが、販売のノウハウがないため苦慮している。経営コンサルの指導をお願いしたい。

それと近代農業を営むためには、基盤整備事業はその原点であると考え。